

令和4年度

# 学習の手引き



日光市立小林中学校

## 小林っ子の学習のルール(中学生用)

- 1 授業が始まる前に
  - (1) 休み時間には、次の授業に必要な用具を、机の上に準備しよう。
  - (2) 移動教室は、早めの行動を心がけよう。
  - (3) 1分前着席をしよう。
- 2 授業が始まったら
  - (1) 正しい姿勢で、話をしている人の目を見て、話を聞こう。
  - (2) 指名されたら返事をして立ち、発表しよう。  
(発言は、手をあげて)
  - (3) 発表する時は、伝える人のほうを向いて、みんなに聞こえる大きな声で、最後まではっきり話そう。
  - (4) 友達の発表は、真剣な態度で聴こう。
  - (5) 字は丁寧に書き、ノートを大切に使おう。
- 3 授業が終わったら
  - (1) 片付けをして、次の時間の準備をしてから休み時間にしよう。
  - (2) 使った机やいすを整頓しよう。



## 小林っ子 授業の心得5箇条

- ① ころをこめて 元気なあいさつ
- ② っちに着席 1分前
- ③ ればできるよ ねばり強く
- ④ かり集中 話をよく聴く
- ⑤ えに出そう 自分の考え

# 国語科

## 1 学習のねらい

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する力を身に付けます。

(1) 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

(2) 社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。

(3) 言葉がもつ価値を認識するとともに、言語感覚を豊かにし、我が国の言語文化に関わり、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

## 2 学習の進め方

原則として毎時間、漢字テストを行います。漢字テスト及び課題の確認の後、本時の内容に入ります。

国語の授業はただ聞いているだけでは力がつきません。自分から積極的に書いたり発表したりするなど、意欲的に取り組んでいきましょう。

## 3 授業の受け方・約束ごと

- ・始業チャイム前に授業の用意をして着席し、漢字テストの勉強をしていきましょう。
- ・教科書、ノート、基礎の学習、漢字の学習、ファイルは必ず準備してください。
- ・忘れ物をしてしまったら、授業が始まる前に先生に伝えましょう。
- ・先生の説明や友達の発言をよく聞き、尊重しましょう。
- ・自分の考えや意見を持ちましょう。
- ・ノートは板書を写すだけでなく、必要に応じてメモをとるなど自分で工夫しましょう。
- ・音読や朗読の時は、必ず声を出して読みましょう。

## 4 評価について

### ①知識・技能

(・漢字テスト ・書写 ・ノート ・定期テスト、単元テスト ・授業の様子)

### ②思考・判断・表現

(・発表 ・スピーチ ・聞き取りテスト ・学習プリント、メモ ・音読(朗読) ・態度  
・学習プリント ・ノート ・定期テスト、単元テスト ・授業の様子 )

### ③主体的に学習に取り組む態度

(・授業の取り組み方 ・宿題、提出物 ・学習プリント ・ノート ・発言、自主学習)

# 社会科

## 1 学習のねらい

社会科は3分野に分かれており、学習することは以下の通りです。

「地理」・・・地形や気候が人々の生活とどのように関わっているか。

「歴史」・・・世の中に至るまでどのような流れがあったのか。

「公民」・・・世の中にはどんな仕組みや課題があるか。

## 2 学習の進め方

- 1・2年生 歴史と地理を、交互に学習します。
- 3年 1学期前半は歴史、1学期後半からは公民の学習をします。

## 3 授業の受け方・約束事

- 準備する物
  - 地理（教科書、地図帳、資料集）
  - 歴史（教科書、地図帳、資料集）
  - 公民（教科書、資料集）
  - ※地図帳、資料集は学校に置いたままで構いません。
  - ※1年生は資料集がありません。
- 授業への取り組み
  - ・その時間のねらいが達成できるよう、積極的に学習に取り組みましょう。
  - ・話を聞く時は、私語は慎みましょう。
  - ・授業中のつぶやきなどリアクションをお願いします。
  - ・発表の際はクラスメイトに聞こえるようにしましょう。
  - ・友達の発表を聞く時は、静かに聞きましょう。
  - ・話し合いを行う時は、自分なりの考えを持って臨み、積極的に自分の意見を発表しましょう。
- 授業の進め方
  - ・授業内容を完璧に覚えても、テストや受験で100点を取れるとは限りません。授業で教科書を全て網羅する訳ではありませんし、受験に出てくる問題も多岐にわたります。より良い結果を残すためには、家庭学習が必須です。
  - ・社会科ではワークシートを使った授業が多いです。先生の話聞いて大切だと思ったことは、各自メモを取りましょう。
  - ・黒板に黄色で書いた単語は、目立つ色で書きましょう。

## 4 評価について

学習の状況を、以下の3観点（評価の場面と方法）を総合的に判断し、評価していきます。

- ① 知識・技能（定期テストや単元テストの結果、ワークシートなど）
- ② 思考・判断・表現（定期テストや単元テストの結果、ワークシートなど）
- ③ 主体的に学習に取り組む態度（単元の振り返り、授業中の態度、提出物など）

# 数学科

## 1 学習のねらい

中学校で学ぶ数学科は、「数と式」・「図形」・「関数」・「資料の活用」の4つに分かれています。

- ①「数と式」では、主に計算の仕組みを学び、計算力をつけます。
- ②「図形」では、図形のもつ性質を学び、作図や計算に活用できるようにします。また、「合同の証明」や「相似の証明」の手順を学び、数学的な考え方を身につけることができるようにします。
- ③「関数」では、ともなって変わる2つの数量の関わり方について学び、具体的な事象の中からもなって変わる2つの数量を見だし、その変化の特徴を表現したり考察したりすることができるようにします。
- ④「資料の活用」では、資料の収集の仕方や処理の仕方を学び、目的に応じて資料の傾向を読み取って、判断することができるようにします。

これらの4つの内容を学習することによって、数学が生活に役に立つことや、数学と科学技術との関係について理解を深めるとともに、何か問題が起こったとき、数学的な考え方を生かして解決できるようになってほしいと思います。そうした解決策を考えられるようになることが数学科のねらいです。



## 2 学習の進め方

原則、教科書の順番で単元ごとに学習を進めます。単元ごとに自己評価表を活用することで、単元のねらいや身につけたい内容を確認しながら、学習の見通しを持てるようにしていきます。単元ごと（単元が長いときは小単元ごと）に、テストを行い、どれだけ学習したことが身についているかを確認し、次の学習につなげていきます。

## 3 授業の受け方・約束ごと

- ・教科書、ノート、問題集、紙ファイル、三角定規(図形の領域の時)、コンパス(図形の領域の時)を持参してください。
- ・今の課題を解決するために、今までの学習の何を活用するかをしっかりと考えましょう。わからないときは、教科書やノートを確認し、それでもわからなかったら質問してください。数学が得意な生徒はアドバイザーとして活躍してください。
- ・授業のあった日は、家庭学習をして復習しましょう。宿題以外にも、自主学習ノートを作成し、計画的に実施しましょう。必ず答え合わせまで行い、間違ってしまった問題はもう一度挑戦しましょう。それでもできなかったときは、先生に質問したり友だちに聞いたりして解決しましょう。
- ・つまづいても粘り強く考え、楽しく明るく学習できるような雰囲気をつくっていきましょう。

## 4 評価について

学習の状況を、以下の3観点（評価の場面と方法）を総合的に判断し、評価していきます。

- ① 知識・技能（授業での様子、定期テストや単元テストの結果、提出物）
- ② 思考・判断・表現（授業での様子、定期テストや単元テストの結果、提出物）
- ③ 主体的に学習に取り組む態度（授業での様子、提出物、家庭学習の状況）

# 理 科

## 1 学習のねらい

中学校で学ぶ理科は、「エネルギー」「物質」「生命」「地球」の4つに分かれています。これらの4つの内容を学習することを通して、

- (1) 自然の事物や現象に興味を持つ。
- (2) 目的意識を持って観察・実験を行う。
- (3) 科学的に物事を調べる力と態度を身につける。
- (4) 自然の事物や現象への理解を深める。
- (5) 科学的な見方や考え方を養う事で



**問題や疑問が発生したとき、理科の知識や考え方を生かして解決できるようになってほしいと思います。そうした解決策を考えられるようになることが理科のねらいです。**

## 2 学習の進め方

☆今日のめあてを意識して、今日の課題に取り組みましょう。

- (1) 新しい言葉や知識を学びます。【知る・理解する】  
「どのようなこと？どのような意味なのか？」理解しよう。
- (2) 予想を立て、実験や観察を通して予想を、検証する。【確かめる（実験・観察）】  
視ることで、違いや変化をとらえます。
- (3) 個人で、知識や結果を整理して、法則や規則性などを導き出す。【考える】  
「なぜだろう？」「どうしてだろう？」の疑問（追究）を大切に。
- (4) 班やクラスでの意見を交換発表を通して、自分と違う(多角的な)見方を吸収する。  
【深める】
- (5) 図・絵・表・数式などを使い、分かりやすく理解したこと発信する。【表現する】

## 3 授業の受け方・約束ごと

- (1) お互いに、気持ちの良い授業のために
  - ①意見、疑問がわいたら、手を上げて発表しよう。  
人の話は、最後まで聞こう。実験の説明など
  - ②ノートは写すものでなく自分で作るもの。
  - ③終盤の練習問題でチェックを。わからないときは早めに相談。
- (2) 安全で有意義な実験のために注意したいこと。
  - ①必ず、よく説明を聞いてから実験を行うこと。
  - ②理科室には危険なものがいっぱい！指示以外のことは、しない、触らない。
  - ③実験は原則として立って行う。(身動きができるように)
- (3) 協力して取り組もう。
  - ①準備や実験は、役割分担をしてみんなで取り組もう。
  - ②個人で考えることはとても大切です。そのうえで、友人と意見交換をすることで、知らなかったことや、自分との違いを知ることができる。  
話合い(協力)しましょう。人におしえることで、自分の理解も確認・定着します。

## 4 評価について (以下の観点を総合して成績を決定します)

- 【知識・技能】 主にテストや実験技能  
(単元テスト、定期テスト、実験の取組など)
- 【思考・判断・表現】 主にテストや実験・観察プリント考察発表  
(単元テスト、定期テスト、実験プリントの結果や考察)
- 【主体的に学習に取り組む態度】 主に授業の様子

# 英語科

## 1 学習のねらい

- (1) 英語に興味・関心をもち、英語を使ってコミュニケーションをとりながら、日本と外国の文化を理解し、互いを尊重し合う気持ちと行動力を身に付けましょう。
- (2) 「聴く、話す、読む、書く」の4つの英語の力の基礎を身につけましょう。
- (3) 学習に見通しを立て、できないことをできるようにするために毎日の繰り返しと振り返りによって、力を高めていきましょう。

## 2 学習の進め方

- (1) 教科書本文は全てスラスラ読めるようにしましょう。  
声に出して読むことは、聴く、話す、書く力を高めてくれます。  
毎日、英語を声に出して読む習慣をつけましょう。
- (2) 英単語や英文は書けるようになるまで練習しましょう。  
見ないで書けるようになると、自分の表現として英作文やスピーチで活用することができます。  
一度覚えただけでは不十分です。何度も繰り返し覚えることで確実に自分の力になっていきます。  
覚えた英文は内容を入れ替え、応用して練習しましょう。
- (3) たくさん英語に触れましょう。  
教科書以外の英語に触れることも大切です。インターネット等で英語を聴いたり、新しい英文を読んだり、英語で日記をつけたり、授業で学んだ英語をどんどん応用、発展させていきましょう。

## 3 授業の受け方・約束ごと

- (1) 友達の発表や発言をよく聴こう。
- (2) 学習仲間を大切に、ペア活動やグループ活動に積極的に取り組もう。
- (3) チャイム前に授業の準備をし、席について待てよう。
- (4) 忘れ物がある場合は授業前に言いに来よう。
- (5) みんなで元気に楽しく勉強しよう。

## 4 評価について

### ①知識・技能

＜外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解するとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けるようにする。＞

定期テスト、単元テスト、ワークシートなど。

### ②思考・判断・表現

＜コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。＞

定期テスト、単元テスト、英作文等のワークシートなど。

### ③主体的に学習に取り組む態度

＜外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。＞

授業における発表、ワークシートなど。

# 音楽科

## 1 学習のねらい

- (1) 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。
- (2) 音楽表現を創意工夫することや、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。
- (3) 音楽活動の楽しさを体験することを通して音楽を愛好する心情を育むとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を培う。

## 2 学習の進め方

- (1) 導入 その日の授業内容に合わせてリコーダー奏や発声を行う。
- (2) 本時の内容 歌唱・リコーダー・創作・鑑賞
  - ★めあてを意識して授業に臨もう。
  - ★合唱や合奏、創作では、協力して作り上げる喜びを味わおう。
  - ★表現（歌・リコーダー・その他の楽器）の基礎技能をしっかり身につけよう。
  - ★鑑賞活動では、音楽の背景となる文化や歴史を知るとともに、音楽のよさや美しさを感じ、自分の言葉で伝えよう。
- (3) ふりかえり めあてに対してのふりかえりになるように具体的に書きましょう。

## 3 授業の受け方・約束ごと

- (1) 忘れ物がないようにしましょう。(自分が困ります)
- (2) 音楽室に来たらすぐにリコーダーを組み立て、練習をしながら先生が来るのを待ちましょう。(時間を無駄にしない)
- (3) どのように表現したいのかを考え、一生懸命演奏しましょう。
- (4) 友達の演奏を、目で聴き、耳で聴き、心で聴きましょう。(決してばかにしたり笑ったりしてはいけません)
- (5) 楽器を丁寧に扱いましょう。

## 4 評価について

音楽科では、次の3つについて評価していきます。

- 知識・技能・・・主に授業中の表現活動や歌・リコーダーの実技テスト、ペーパーテスト  
思考・判断・表現・・・主に授業中の発言や表現活動、ワークシートの記述  
主体的に学習に取り組む態度・・・主に授業態度やワークシートの記述、提出物



# 美術科

## 1 学習のねらい

表現および鑑賞の幅広い活動を通して、美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育てると共に、感性を豊かにし、美術の基礎能力を伸ばし、豊かな情操を養う。

美術の学習は、それぞれの個性を生かしながら表現していく活動です。また、一人一人のよさを確認していく活動です。自分の可能性、他人のよさを認めていくことが大切になります。自分で考え、創意工夫して、作品をよりよくしていこうとする意識をもって取り組みましょう。

- (1) 進んで学習に取り組み、心豊かに制作できるようにしよう。
- (2) どんな目的で、何をどのように描いたり作ったりするのか、よく対象を観察したりアイデアやデザインを考えて美しく表現しよう。
- (3) 自然や美術作品、文化遺産などのよさについて、基礎的な理解や見方、感じ方を広げたり深めたりして、そのよさや美しさなどを感じ取って味わおう。

## 2 学習の進め方

- (1) 集中して取り組むこと。
- (2) 自分が何を表現したいのか、表現するための用具、材料を自分で準備すること。
- (3) 制作の手順やポイントを理解すること。
- (4) 表現の基礎技能をしっかり身につけること。
- (5) 鑑賞活動では、美術のよさや楽しさを感じ、自分の言葉で表現すること。

## 3 授業の受け方・約束ごと

- (1) 自分で準備、片付けをする。
- (2) 自分の個性を表現する。
- (3) 作品のモチーフ、材料となる、多くの資料の収集や体験をすること。
- (4) 道具を安全に、大切に扱う。

## 4 評価について

学習の状況を、以下の3観点（評価の場面と方法）を総合的に判断し、評価していきます。

- ①知識・技能（授業での発言、作品の制作過程、作品の完成度等）
- ②思考・判断・表現（作品の制作過程、ワークシート等）
- ③主体的に学習に取り組む態度（授業態度、授業での発言、ワークシート、作品の提出等）

# 保健体育科

## 1 学習のねらい

「身体を動かす楽しさ」を味わい、生涯にわたり運動に親しもうとする意欲や態度、健康な生活を送るための知識を身につけ、心と体を育てることが保健体育科の大きな目標です。

授業をとおして、「できないことができるようになった。」「苦手だけががんばれた。」「つらいけどやりきれた。」というような達成感を味わい、自分の頑張りをほめられる取り組みをし、技能や体力の向上を実感しながら、運動の楽しさを味わえるようにしていきましょう。

### 【 体育分野 】

- (1) 各種運動を合理的に行い、運動の楽しさや喜びを味わおう。
- (2) 自分の身体の状態を知り、強い意志を養いながら体力を向上させよう。
- (3) 学習のポイントを押さえ、運動のコツをつかみながら技能を向上させよう。
- (4) 運動技能の向上や、体力の向上を実感し、達成感を味わおう。

### 【 保健分野 】

- (1) 健康に生活するための知識を身につけよう。
- (2) 健康を保持増進させるための行動を、実践しよう。

## 2 学習の進め方（体育分野）

- (1) 自分の運動技能や、体力の状態を確認しよう。
- (2) 自分の運動技能や、体力を高めるための目標をもとう。
- (3) 自分で工夫したり、周囲からのアドバイスを参考にしたりしながら運動のコツをつかもう。
- (4) 目標達成のために、ねばり強く挑戦していこう。
- (5) 自分の活動を振り返り、評価していこう。

## 3 受け方・約束ごと（体育分野）

『聴く→やってみる→学び合う』

- (1) 集団行動（集合・整列・話の聞き方）を大切にし、能率的に活動しよう。
- (2) あいさつや返事、準備運動のかけ声を、大きな声で元気よくやろう。
- (3) けがや事故の防止のため、自分の服装や、周囲の用具を整えよう。
- (4) 先生の話や説明をよく聞き、1時間の活動の流れをつかもう。
- (5) 学習のねらいやポイントを押さえて活動しよう。
- (6) 仲間と教え合ったり励まし合ったりしながら、協力して学習に取り組もう。
- (7) 本時の授業を振り返り、自己評価して次時の活動に生かそう。
- (8) 見学する場合は、保護者にその旨を書いてもらい朝のうちに許可を得よう。登校後に体調不良になった場合は、学級担任等に確認してもらおう。
- (9) 活動は半袖・ハーフパンツを原則とします。  
(ただし、季節や気候によりジャージや防寒着、手袋の着用を認める。)

## 4 評価について

保健体育科では、次の3つについて評価していきます。

知識・技能・・・

単元の技能や知識が身についているか評価します。（練習での状況や技能テスト、知識理解テスト等）

思考・判断・表現・・・

課題に対して工夫して取り組んだり、状況に応じた活動の仕方を身につけていたり、仲間に有効なアドバイスなどを伝えているか等を評価します。

主体的に学習に取り組む態度・・・

積極的に取り組む意欲や仲間を援助したり、安全面注意して活動しているか等の授業態度を重視して評価します。

# 技術・家庭科

## 1 学習のねらい

- (1) ものづくりなどの実践的・体験的な学習活動を通して、生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技能を身に付けよう。
- (2) 生活の中での課題に対して、自分なりに判断し、課題解決に積極的に取り組もう。
- (3) 科学技術の発展と問題点について考え、自らの生活改善に必要な情報と技術を適切に取り入れよう。
- (4) 学習を通して、工夫する楽しさ、作業のおもしろさ、作品完成の喜びを体験しよう。
- (5) 製作や実習の際は、協力、責任、安全を心がけて取り組もう。

## 2 学習の進め方

- (1) 問題の発見（生活の中での課題）
- (2) テーマの設定（計画・立案）
- (3) 実践（製作・実習、調査・研究）
- (4) まとめ（評価・反省）
- (5) 生活への活用

## 3 授業の受け方・約束ごと

- (1) 誰の話でも耳を傾けよう。
- (2) 早合点で結論を出さずに、最後までやってみよう。
- (3) 相手の考えを大事にしながら、作業や話し合いをしよう。
- (4) 相手からの助言や提案にも素直に耳を傾けよう。
- (5) 自分がわからないこと、できないことを他人から学ぼう。
- (6) 自分がわかること、できることは他人にも教えよう。
- (7) みんなで「頑張る」という雰囲気を作ろう。
- (8) 相手にわかりやすく説明するように心がけよう。
- (9) グループ内で分担されたことなどは、積極的に責任をもってやろう。
- (10) まず自分で考え、安易に他人に頼らないようにしよう。

## 4 評価について

技術・家庭科では、次の3つについて評価していきます。

知識・技能・・・授業中の技能の習得状況や完成した作品、筆記テスト等で評価します。

思考力・判断力・表現力・・・学習したことの活用状況やのノートの記述内容、仲間へのアドバイスの伝え方等で評価します。

主体的に学習に取り組む態度・・・様々な活動に取り組む意欲や仲間への援助等の授業態度を重視して評価します。

## 教科別 学校に残してもよい勉強道具の一覧

教科	教科書類	保管場所	備考
国語	書写の教科書、便覧、ファイル	教室	
社会	各種資料集、地図帳、ファイル	教室	
数学	ファイル	教室	
理科	ファイル	教室	
英語	辞書、ファイル	教室	
音楽	アルトリコーダー、コーラスフェスティバル、教科書、ファイル	音楽室 教室	ファイルのみ 音楽室
美術	教科書	教室	
保健体育	保健の教科書、ノート、ファイル	教室	
技術	教科書、技術のノート	教室	
家庭	教科書、ノート、実習材料、裁縫道具セット	教室	
その他	道徳科の教科書、ノート、学活・総合・キャリアパスポート・進路のファイル	教室	

☆勉強道具をしっかりと準備して授業に臨もう。

☆勉強道具は家庭学習にも役立てよう。

# 効果的なテスト勉強法

## ～4つのポイント～

### (1) テストに向けた学習計画を立てる

中学校の定期テストでは、どの教科も一斉にテストが行われるので、学習範囲も広がります。思いつきでその日に学習することを決めているようでは、うまくいくはずがありません。そこで、きちんとした見通しを立てて、効率よく学習に取り組むことが大切です。本校では、テスト2週間前に学習計画表を配布します。まずは自分に合う計画を立て、それからテスト勉強に取りかかりましょう。

### (2) 立てた計画を実行する

せっかく立てた計画も、計画だおれになってしまっただけでは何の意味もありません。計画にしたがって学習する努力が必要です。決められた時刻に机に向かい、集中して学習しましょう。しかし、場合によっては計画を修正する必要も出てくるかもしれません。その時は、あらためて計画を見直す柔軟性も大切です。

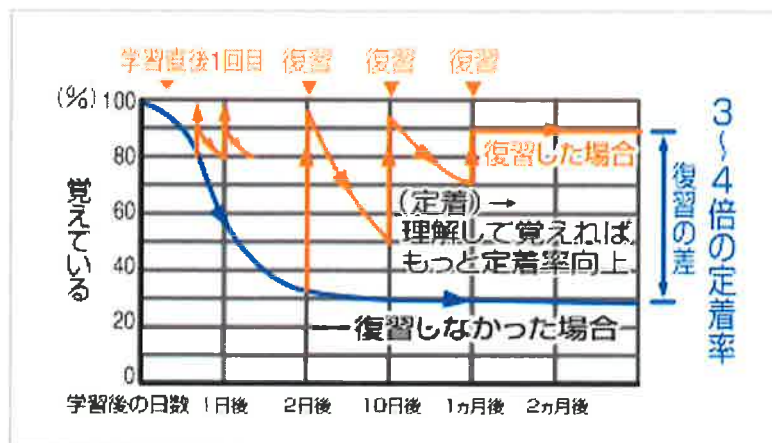
## 良い計画⇒努力（学習）⇒良い結果

### (3) 覚え方を工夫する

学習の中には、漢字を覚えたり都道府県名を覚えたりなど、記憶しなければならないことがたくさんあります。しかし同時に、人間は忘れてしまう生き物でもあるのです。では、どのようにしたら忘れずに覚えることができるのでしょうか。

下のグラフを見てください。縦軸は学習した内容をどれだけ覚えているかを、横軸は時間の経過を示しています。これによると、1日、2日と日にちがたつにつれて覚えている割合が減少しているのがわかります。しかし、学習直後やその後に復習を繰り返すことによって、学習した内容を定着させることができます。

この図から明らかなように、早めに何度も復習することで、より確実に知識を身につけることができます。



### (4) わからないことをそのまましておかない

わからないところをそのままにしておくと、それに関連した内容や次回にやる内容までわからなくなってしまうことがあります。まずは自分で考えたり調べたりして、それでもわからないときは友達や先生に聞いて、必ず解決していくようにしましょう。

# テストの受け方

- 1 制服を着用する。
- 2 出席番号順に並ぶ。
- 3 机の中を空にする。
- 4 鉛筆（シャープペンシル）を数本と消しゴムを机上に用意する。  
※筆箱は机の上に出さず、ロッカーにしまう。必要に応じて、定規等を用意する。
- 5 早めに着席、チャイムで開始  
※開始の合図があってから名前を書く。
- 6 文字は丁寧に濃く書く。
- 7 終わっても机に伏せたり寝たりせず、必ず見直しをする。
- 8 真剣な態度でのぞみ、最後まであきらめない。
- 9 チャイムで終了。
- 10 花粉症等で箱ティッシュを使用した場合はテスト監督に許可を取る。

※「テストの受け方」掲示物参照

# 1 分間スピーチについて

小林中学校学習指導部

## ★1 分間スピーチの目的

- ・自分の考えや思いをまとめ、相手にわかりやすく伝える力を身につける。
- ・姿勢や礼儀など、話し方・聴き方を身につける。



## ★目指す姿と聞き方

	話 し 手	聞 き 手
一 年 生	<ul style="list-style-type: none"><li>・始まりと終わりには一礼し、正しい姿勢で読む。</li><li>・テーマに沿って自分の考えを書くことができる。</li><li>・書いた原稿を見ながら、聞きやすい声の大きさと話す速度で発表することができる。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・話し手に体の正面を向ける。</li></ul>
二 年 生	<ul style="list-style-type: none"><li>・始まりと終わりには一礼し、正しい姿勢で読む。</li><li>・決められたテーマや自分で考えたテーマに沿って、自分の考えを書くことができる。</li><li>・原稿をできるだけ見ずに、聞き手を見ながら、聞きやすい声の大きさと話す速度で発表することができる。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・姿勢を正す。</li><li>・話し手をしっかりと見る。</li><li>・スピーチに意識を集中する。</li></ul>
三 年 生	<ul style="list-style-type: none"><li>・始まりと終わりには一礼し、正しい姿勢で読む。</li><li>・自ら話すテーマを考え、構成メモを作成し、それをもとに発表することができる。</li><li>・聞き手を見ながら、表情豊かに、抑揚をつけて発表することができる。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・スピーチの始まりと終わりには、心を込めて拍手する。</li></ul>

## ★1 分間スピーチのコツ

- ・1分間に話せる文字数は、おおよそ300～400字程度です。
- ・テーマは1つにしぼり、一番伝えたいメッセージを伝えられるようにしましょう。
- ・文章の構成は、
  - ① 結論（自分の考え、メッセージ） ⇒ 理由
  - ② エピソード ⇒ 結論（自分の考え、メッセージ）など、2部構成にできるとよいでしょう。

# 小林中学校 話し合いの手引き

## ☆話し合い活動の目的☆

色々な人の考えを知ること、自分の考えを深めたり、よりよい結論を導いたりする。

### 発問・学習課題

- 自分で考える。
- 考えをまとめて書く。

### 話し合いで深める

#### ○自分の考えを伝える。

- 伝え方
- ・友達に聞こえる声の大きさ
  - ・相手の目を見て話す
- ☆結論をはじめに伝え、あとから理由を述べる。
- (私は○○だと思います。理由は○○だからです。 など)
- ・相手にわかりやすくする工夫 (例を挙げて説明する など)
  - ・友達の意見で参考になったことを伝える。
- (意見を聞いて、新たにこんなことにも気づきました。 など)

#### ○友達の考えを聞く

- 聞き方
- ・相手の目を見て聞く。
  - ・最後まで話を聞く。
  - ・自分の考えと比較して聞く。
- ☆相づちをうつなどのリアクションをとって聞く。

#### ○友達に質問する。

- 質問の仕方
- ☆相手を不快にさせない言い方 (けなさない、ばかにしない)
  - ・自分の考えを明らかにして、質問する。
  - (疑問に思った理由を述べる)
  - ・自分との相違点を伝える。
  - (同じように考えたけど、この部分だけ違います。 など)

#### ○友達の質問に答える。

- 解決に向けた話し合い (答えがあるもの)
- 友達と相談し、結論を導く。

- 解決に向けた話し合い (答えが一つでないもの)
- 友達の考えを受けて、自分の考えを深める。